

市道三溝線再整備検討会だより

～第5号～

H31.2.12
発行

第5回検討会では、これまでの議論の内容を取りまとめた整備方針が事務局から説明されました。また、整備に向けた今後の検討ポイントについて意見交換しました。

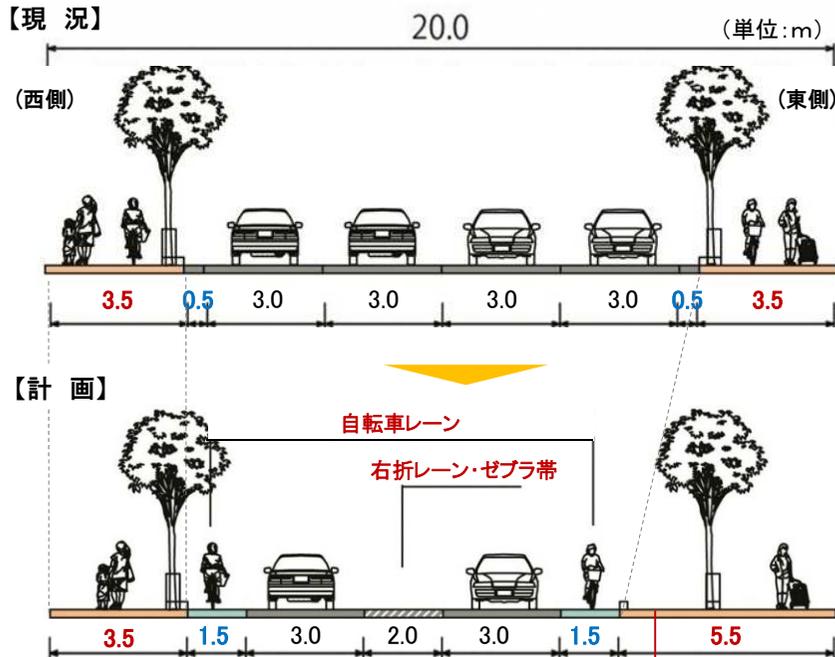
《第5回検討会》

- 日時 平成31年1月25日(金) 14:00～15:30
- 議題
 - 市道三溝線の再整備方針について
 - 関連事業について(駅前広場整備等)
 - 今後の検討ポイントについて



市道三溝線の再整備方針

- ・自転車レーンを設置して、歩行者と自転車の通行空間を分離します。
- ・自転車レーンは道路の東西方向に設置し左側通行とします。
- ・車線は2車線とし、右折レーンとゼブラ帯を設置します。
- ・東側の歩道を最大2m拡幅し、質の高い歩道空間を創出します。



2023年の国民スポーツ大会等を見据え、2019年度に設計、2020年度から工事を行う予定

東側の歩道を最大2m拡幅(3.5m→5.5m)

再整備イメージ

現況写真



日常の風景

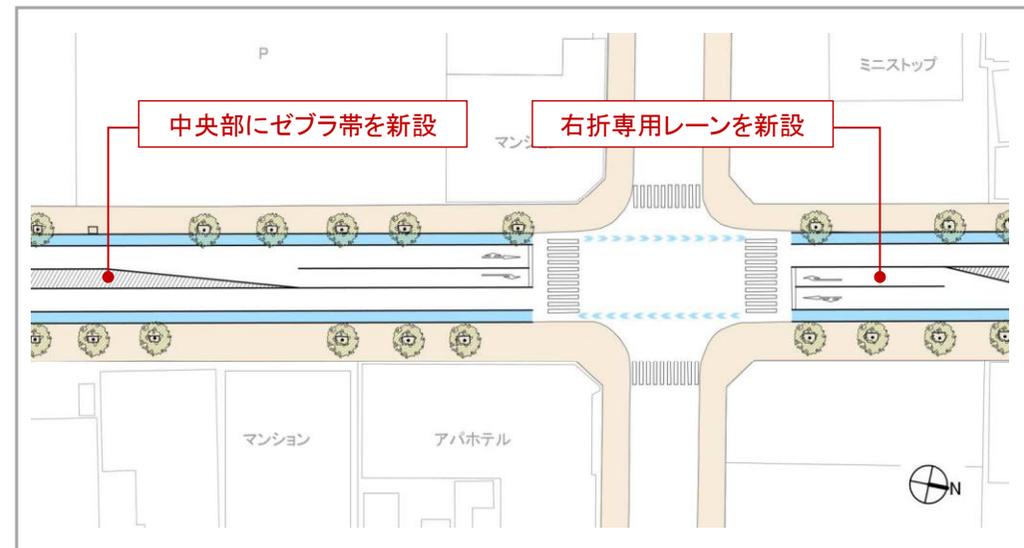


イベント利用時



南側(駅方面)を望む

交差点周辺



■駅前広場の再整備

佐賀市では駅前広場の再整備について検討を行っています。検討会では、計画案が事務局から説明されました。

《北口駅前広場》

- ・駅前広場の出入り口を集約し、周辺交通の流れを改善。
- ・広場内のタクシーと一般車の乗降場を分離。
- ・駅コンコース出口正面に、ベンチなど人が憩う空間を配置。



■整備イメージ(駅コンコース出口から北側を望む)



《南口駅前広場》

- ・駅コンコース出口正面に、人が憩う空間、賑わいを生む広場空間を配置。
- ・交通広場を西側に再配置。
- ・タクシーと一般車の通路を分離し、分かりやすい動線を確保。



■整備イメージ(駅コンコース出口から南側を望む)



交通機能の再配置・最適化

■市道三溝線の今後の検討ポイント

今後、設計と併せて検討すべきポイントについて確認しました。

《①自動車が走行しやすい道路構造》

バス停や交差点形状など、自動車にとっても通りやすい道路構造を検討

《②信号サイクルの最適化》

交通の円滑化に向け、信号現示の面的な見直しについて警察と協議しながら検討

《③景観デザイン》

舗装のパターンなど、道路の詳細な景観デザインについて検討

《④歩道空間の活用方策》

休憩、情報発信、イベント利用など、幅員が最大5.5mとなる歩道の活用方策を検討

《⑤道路の認知度・愛着を高める方策》

地域の特徴を生かした取り組みや、道の愛称などの方策を検討

○今後の検討ポイントのイメージ

①車道の通りやすさにも配慮したバス停の例



(東京都文京区:国道254号)

②信号が変則で青時間が短い交差点



(佐賀駅北口交差点)

③通路上に距離標を表示したデザイン例



(昭島市:昭島市エコパーク)

④歩道空間を活用して休憩施設を設置した例



(柏市:柏の葉キャンパス)

⑥地域の特性を生かした取組み例



(長崎市:出島表門橋公園)

【発行・お問い合わせ】

佐賀市役所 佐賀駅周辺整備構想推進室

電話: 0952-40-7007

E-mail: sagaeki@city.saga.lg.jp